

学発番号:学18-008

事業名: 一般検査研修会 一般検査基礎講座

日時: 平成30年6月23日(土) 14:00~17:00

場所: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主題1: 円柱

講師1: 大郷 義也 技師(日本バプテスト病院)

主題2: 尿沈渣検鏡のヒントをつかむ! 塩類・結晶類から分かること

講師2: 藤井 宏哉 技師(ファルコバイオシステムズ総合研究所)

参加数: 総数:20名(京臨技会員:18名)

報告者: 大長 洋臣(京都府立医科大学付属病院)

以下、講演内容など

大郷技師より腎臓の解剖構造、円柱の生成、鏡検の仕方等について講義していただきました。円柱の生成は腎臓・ネフロン障害度合いに結びつくため、併せて理解することが重要です。円柱成分の各論と、それを踏まえた実践問題も提示され、聴講者の理解も深まったと思われます。また、藤井技師より塩類・結晶類の基礎と種類・生成から、臨床的意義などを解説していただきました。塩類・結晶類析出のポイントを抑え、その上で他の尿沈渣成分の出現を観察することは尿沈渣検査に取り組む上で大きなヒントとなることを分かり易く講演して頂きました。質疑では尿沈渣を見た検査者からの働きかけや、医師とのコミュニケーションのあり方なども話題になりました。これから新しく尿沈渣検査に取り組む技師にも、日常的に携わる技師にも有意義な研修会となりました。次年度以降も実検査に役立つ研修会開催を計画していきます。